

“働くこと”と“環境”を考える授業（小学校・高学年～中学校向） <その1>

授業の流れ-子どもの活動反応	留意すること・資料の提示			
<p>■学校で毎日使っているチョークで書いてみよう。 ※普段使っているチョークがダストレスチョークでなければ、書き比べてみよう。</p>	<p>○書いてもらったチョークの“良さ”を知る。他のチョークがあれば違いを知る。</p>			
<p>[sample]生徒のみんなの声 *なめらかな書き味だよ *白くはっきり書くことができるよ *チョークの粉が手につきにくいよ *さまざまな色があるよ *粉が散りにくいよ</p>	<p>○書いてもらったチョークの名前は「ダストレスチョーク」であることを伝える。</p>			
<p>■使いやすいチョークは「ダストレスチョーク」という名前です。誰が作っているのだろうか？</p>	<p>○日本理化学工業株式会社という会社で作っていることを伝える。</p>			
<p>[sample]生徒のみんなの声 *大きな会社の人たちだよ *工場で作っているよ *意外と小さな工場の人たちが作っているかも *手先が器用な人がつくっているよ</p>	<p>・日本理化学の社員は 89 人、そのうち 62 人が知的障がい者。チョークを作っているラインではほぼ全員が知的障がい者。 ※別紙プリントを参照</p>			
<p>■実はこのチョークは障がいを持った人たちが働いている工場で作っているよ。</p>	<p>○グループでの話し合い。 例を3つ位に絞ってどうしたらよいか工夫を考えてもらう。</p>			
<p>[sample]生徒のみんなの声 *えっ、障がいがあっても工場で働くことができるの？ *障がい者ってどんな障がいを持っている人たちのなの？</p>	<p>①一定の重さの原料を量るには、 ②一定の長さ、太さを測るには、 ③一定の時間作業するには、 (社長さんになったつもりで)</p>			
<p>■字が書けない・読めない・数字が読めない人たちがどうしてチョークを作ることができるのだろうか？ 例えば、重さが量れない、長さが測れない、時計が読めない人たちのための工夫をみんなで考えてみよう！</p>	<p>○キットパスで窓ガラスや画用紙にお絵かき遊びをしてもらう。 ※ホームページ“あそびかたいろいろ”ページ参照</p>			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="165 1464 443 1825"> <p>&lt;重さが量れない&gt; ・はかりを使えない ・目盛りをよめない、数字がわからない。 ・天秤のようなもので、重さを決めてつりあわせるようにすればいいかもしれない。</p> </td> <td data-bbox="448 1464 726 1825"> <p>&lt;長さが測れない&gt; ・ものさしは使えない ・決まった長さの棒を用意したら ・決まった長さの所にしるしをつけたものを用意したら</p> </td> <td data-bbox="730 1464 978 1825"> <p>&lt;時計が読めない&gt; ・時計がわからない ・決まった時間にベルが鳴るもの-目覚まし時計を使ったら ・砂時計のようなものを用意したら</p> </td> </tr> </table>	<p>&lt;重さが量れない&gt; ・はかりを使えない ・目盛りをよめない、数字がわからない。 ・天秤のようなもので、重さを決めてつりあわせるようにすればいいかもしれない。</p>	<p>&lt;長さが測れない&gt; ・ものさしは使えない ・決まった長さの棒を用意したら ・決まった長さの所にしるしをつけたものを用意したら</p>	<p>&lt;時計が読めない&gt; ・時計がわからない ・決まった時間にベルが鳴るもの-目覚まし時計を使ったら ・砂時計のようなものを用意したら</p>	
<p>&lt;重さが量れない&gt; ・はかりを使えない ・目盛りをよめない、数字がわからない。 ・天秤のようなもので、重さを決めてつりあわせるようにすればいいかもしれない。</p>	<p>&lt;長さが測れない&gt; ・ものさしは使えない ・決まった長さの棒を用意したら ・決まった長さの所にしるしをつけたものを用意したら</p>	<p>&lt;時計が読めない&gt; ・時計がわからない ・決まった時間にベルが鳴るもの-目覚まし時計を使ったら ・砂時計のようなものを用意したら</p>		
<p>■次の時間はこの会社について考えてみよう</p>				

“働くこと”と“環境”を考える授業（小学校・高学年～中学校向） <その2>

授業の流れ - 子どもの活動反応	留意すること・資料の提示
<div data-bbox="156 324 1031 459" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■前の時間で、ダストレスチョークを障がいをもった人たちが作っていたことがわかりましたね。 キットパスは使って楽しかったですか？</p> </div> <p>[sample]生徒のみんなの声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*障がいを持った人たちが全部チョークを作っていてびっくりした。</li> <li>*いろいろな工夫をしていることが分かった</li> <li>*「ダストレスチョーク」や「キットパス」の良さがわかった</li> </ul> <div data-bbox="156 676 1043 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>■日本理化学工業の会社の様子・働いている様子を見てみよう。 ※別紙プリントとホームページの工場紹介を参照</p> </div> <p>[sample]生徒のみんなの声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*前の時間に考えた工夫が実際に使われていたよ</li> <li>*みんな真剣に働いていたよ</li> <li>*障がいをもっている人たちがいきいきとがんばっていたよ</li> </ul> <div data-bbox="156 987 1056 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>■“4つの幸せの話”</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、愛されること</li> <li>2、ほめられること</li> <li>3、人の役に立つこと</li> <li>4、人に必要とされること</li> </ol> <p>この4つの言葉について考えてみよう</p> </div> <p>[sample]生徒のみんなの声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*「自分たちがめんどろをみるから2人を正社員にやとってほしいと言った言葉が印象に残った。</li> <li>*一生懸命働くことが人の役に立っていると思った</li> <li>*ここで働いている人みんなが大切な人たち</li> <li>*ほめられたり、愛されたりしたらうれしいこと。もっとやる気がでてくる。</li> <li>*障がいをもっている、もっと多くの場所で働けるとみんな幸せになれると思う。</li> <li>*こんな工場がもっと増えたらいいな</li> </ul> <div data-bbox="156 1684 1075 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>■次は、この工場で作られているダストレスチョークが環境に良いことを知ろう</p> </div>	<p>○前の時間で障害を持った人たちの手によってチョークが作られていること、同じく作られている「キットパス」の良さを確認。</p> <p>○会社の様子を紹介 障がいを持っている社員が一生懸命働いている様子を紹介。 (ホームページ “障害者雇用の 取り組みについて” “工場紹介”を参照)</p> <p>○50年前のエピソードを紹介(別紙プリントを参照)</p> <p>4つの言葉を紹介 (この言葉について身近なことを例にして考えてもらう)</p> <p>働くことが出来る喜び 働くことが出来る幸せ 障がいを持った人も一緒に働いていける社会になるとよいことなど。</p>

“働くこと”と“環境”を考える授業（小学校・高学年～中学校向） <その3>

授業の流れ - 子どもの活動反応	留意すること・資料の提示
<p>■障がい者の人たちが一生懸命作ったチョーク。 愛されること・ほめられること・人の役に立つこと・人に必要とされることの大切さをこれまでに知りました。 働くことで幸せを求められることを知りました。 さて、このダストレスチョークはどのように作られているか知りましょう。</p>	
<p>■このチョークは何で出来ているのだろう？ 原料は何だろう？</p> <p>[sample]生徒のみんなの声 *わからない *なんだろう?? *チョークは体に良くない??</p> <p>■ホタテの貝殻を使っています！！</p> <p>*えっ! ? *どうやって作るの？</p>	
<p>これまでのダストレスチョークは山から採掘する石灰岩を砕いて粉末にした物を主な原料にしていました。 白チョークを作っている日本理化学工業(株)美唄工場（北海道）では、毎年大量に廃棄されるホタテの貝殻を再利用出来ないかを考え、これまでの原料にホタテの貝殻を加えて作るホタテ貝殻配合のダストレスチョークが生まれました。 ごみになる貝殻を利用したのに、これまでのチョークより“より白く”“なめらかに、品質が良くなりました。</p>	
<p>■チョークの製造方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、原料（石灰岩・ホタテ貝殻の粉、顔料、糊剤など）をはかりで量って、水と一緒にこねる。</li> <li>2、棒状に伸ばしてチョークの長さに切ってトレイにのせて乾燥させる。3、乾燥させた後本数をそろえて、コーティング液につける。</li> <li>4、形をチェックして、形が悪いものをはずす</li> <li>5、箱に詰めてできあがり</li> </ol>	<p>○別紙プリントやホームページの工場紹介を参照</p>
<p>■チョークのリサイクル方法を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粉を集めて再生チョークを作成</li> <li>・色の付いたチョークは絵の具に?!</li> </ul>	
<p>■1本のチョークから働くこと・環境のことが見えてきたね！ みんなが幸せになること - 他にどんなものがあるか調べてみよう！</p>	